

平成25年度（ 2 ）年生(音楽)科シラバス

教科の目標

1. 音楽活動を体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。
2. 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身につけ、創造的に表現する能力を育てる。
3. 多様な音楽に興味を持ち、幅広く鑑賞する能力を育てる。

月	単元・項目	つけてほしい力	学習のアドバイス	評価方法
4	○翼をください	○旋律のまとまりや、曲の構成に気づいて表現する。	○標語や記号の意味を理解し、表現を工夫する。	○実技試験 ○まよめのプリント ○写譜 ○内容を理解し、プリントにきちんと記入することができたか。
	○楽典	○楽譜の進み方について理解する。	○反復記号の意味を理解する。	
5	○日本の郷土芸能(鑑賞)	○日本各地の郷土芸能に親しみ、その特徴を感じ取る。	○特徴や気づきをしっかりとプリントに記入する。	○郷土芸能の特徴を感じ取っているか。 それぞれの郷土芸能を聴き分けることができたか。
6	○アルトリコーダー ・威風堂々	○運指を理解し、表現を工夫しながら演奏する。	○高音をきれいに出すためのコツを覚える。	○実技試験 ○写譜
7	○夏の思い出	○日本の情緒豊かな音楽を歌い、詩の美しさを感じ取り、表現する。	○情景を想像しながら歌う。	○詩の内容を考え、曲にふさわしい表現を工夫することができたか。
9	○心の中にきらめいて	○混声合唱の響きを確認しながら、伸びやかに表現する。	○パート練習をしっかりと行うこと。	○混声4部合唱の響きを確認しながら歌うことができたか。
10	○いろいろな合唱曲	○合唱祭に向けて合唱曲に取り組み、表現力と合唱の楽しさを感じ取る。	○詩の内容を考え、曲にふさわしい表現を工夫する。	○混声合唱の響きを楽しみながら、表情豊かに歌うことができたか。
11	○交響曲第5番ハ短調 (鑑賞)	○管弦楽の豊かな響きや楽曲構成の特徴を感じ取って鑑賞する。	○ソナタ形式などの楽曲構成や、管弦楽の楽器について知り、表現の豊かさを味わう。 作曲者について深く知る。	○内容を理解し、それぞれの曲を聴き分けることができたか。
12	○アルトリコーダー ・きらきら星 ・ふるさと	○アルトリコーダーの運指を確認し、表現力を高める。	○アーティキュレーションを考えながら演奏する。	○実技試験 ○写譜
1	○オペラ「アイーダ」(鑑賞)	○総合芸術としてのオペラを鑑賞し、舞台の雰囲気味わう。	○ストーリーを頭に入れながら鑑賞する。	○音楽と舞台が結びついた華やかな魅力を味わうことができたか。
2	○歌舞伎「勸進帳」(鑑賞)	○日本の伝統芸能に関心を持つ。	○ストーリーを頭に入れながら鑑賞する。	○内容を理解し、日本の伝統芸能に関心を持つことができたか。
	○サンタルチア	○イタリアの歌曲に親しみ、カンツォーネの特徴を感じ取る。	○明るく伸びやかな声で歌う。	○カンツォーネの特徴を感じ取りながら歌うことができたか。
3	○箏	○日本の伝統楽器に親しむ。	○箏の構造や基本的な奏法を理解する。	○基本的な奏法を理解し、演奏することができたか。
	○卒業式の取り組み	○卒業式に向けて合唱曲に取り組み、表現力を身につける。	○パート練習をしっかりと行うこと。	○曲の特徴を生かして表現を工夫し、合唱することができたか。